京城新報

●新聞料 一ヶ月金三十錢 ●廣告料 …
●陰曆 五月卅一日
發行兼編輯人 秋山忠三郎
發行所 京城新報社 電話六六三番

冥途より通信（下の上）

亡者 星亨より
伊藤老公閣下
翠山生

▲亡者の分際として斯く憎まれ口を叩き候ことの無禮なる御經過御鑑なる閣下に取りては、小癪な奴、生意氣な佛と御立腹の節もあらんも、通は御讎にも申し述べし通り呉々も閣下の公生涯を思ふの衷情に外ならず候へば、此の點は御賢量にも不總御賢察有之度願上候、而して小生は恐ながらもう二口三口申し上げる積りに候。

▲英親王殿下には昨冬御渡韓の爲め日本に御出發被遊候以來身心共に御健全に被渡、ソレに學識と言ひ智能と言ひ日を經るに從つてメキ〳〵と御發達の由拜聞いたし居り候が、是れまことに目出度次第にて御父君及びおはらからの御悦びは嘸や〳〵と被察候思ふに是れ由來閣下が御薫陶の賜に渡らせらるゝは申すも愚かなことながら又閣下が太子太師としての御輔育に其の當を得居るをせしも恐察候、實際子弟の教育に就ては現在我が子の教育にすら少なからぬ困難と手數とを感ずる筈のものなるに況して他人の……否な九重深き玉の宮居に起き居し給ふ皇儲殿下の御輔育を帶びらるゝ閣下の責任は實以て容易ならざる義と只管察し入り候。

▲然るに愛に小生の怪訝に禁へざるは此の絕大なる責任と少なからざる心勞とを有せる筈の閣下が常に殿下の御身邊に侍り玉はず、のみならず遠く去つて任に韓國にあることは果して如何なる御所存かと被存候、尤も此の世とは違ひ文明の機關の發達せし沙婆のことに候へば例令其の身は千萬里の海山を離れ居り候とも別に差したる不便は無之やうには候へども幷は他の場合にて是れとソレとは固より日を同うして語るべきにはあらず候

▲さはいへ閣下の任務は世の所謂普通の教への庭に於ける生徒と教師との關係に於けるが如く、閣下自ら教壇に起ち諄々殿下に對し奉りて修身の道を教へ、讀書の智を授くる一個の先生様にあらざるは固よりのことソレ等に關しては他に立派なる學問と適當なる侍講の存ずることに候故此の點に於ては毫も閣下を煩はすの要は無之候もソレ以上の重大なる任務と職責とに至りては如何にしても之を閣下に歸せざるべからざるは敢て論を俟たざる所に候然るに閣下は統監として其の忠實多端なる官職を帶び遠く殿下の御身邊を辭して韓國に赴き給ふ思ふに三面六臂を有するものにあらざるよりは如何でか能く之が輔導の大任を全うすることの容易に能ふべく候哉、

▲今更ら事新らしく申すまでもなく閣下が一意唯現世の榮耀榮華をのみ是れ欲し、天爵よりも人爵を尊び、實名よりも虛名を求むるに切なるは普ねく世人の知るところ、又閣下自身と雖も先刻御存知の筈と存候、而して端なくも昨冬閣下には英親王殿下御輔導の名の下に、畏くも韓皇室より太師太子の尊名を授けられ、同時に皇族の待遇を給はられ候ひしは異例無上の光榮、恐らくは釋迦様と雖もヨモヤ御存知有之間敷と被察候、サテ此の無上の光榮を辱うせし閣下は當時果して如何の感慨をか催され候哉、思ふに是れ一個虛榮心の權化たる閣下の心中は嘸ぞかし感極りて嬉し涙に掻き暮れしてとも被恐察候、而も又翻つて同時に閣下が其の身の負荷の極めて重且つ大にして宛かも九鼎大呂のソレの如くなりしとは將然として不思議の敗鬪を禁じ得ざりし事と失禮ながら想像いたされ候而かも閣下は名を取りて實を後にす、タトヒ精力絕倫、意氣旺盛なる閣下と雖も何にさま古稀に垂んとする身亡者小生の憂慮する又强ちに杞人の憂にはあらず候

●高等女學校現況（續）

此の他本校の主義として質素を旨とし浮華の服裝粧飾をなす事を戒め一方容儀を正し作法を守り自然の美を自然に發揮せしむるを方針とせり入學試驗の際の如きは服裝の華美頭飾の贅澤甚しき計りにて甚しきは厚化粧をなし黃金の指輪を貫める者すらありし由なるも開校後劈頭第一に之を戒め深く此の點に注意したる由にて今や生徒一般の氣風は本校の主義に一致せるものある如し又各生徒をして必ず自己の日記を認めしめ其行爲の巨細を記入して一日を如何に暮せしかを反省せしむる方法を取り居れり此の日記は校長及び擔任教師綿密なる檢閱を行ひ以て個人的訓練の材料となし兼て又生徒をして自己の見聞せる事實及び感想を有する自由に記述せしむるに馴れしむる爲めなりと云ふ學科教授法の方針は言ふ迄もなく開發主義により勉めて注文的教授を避け可成問答法による方針を採れり尙校長及び首席教諭は時間の許す限り各教員の授業を巡視し各教員も互に授業を參觀して互に批評を交換し教授法の改良進步を圖りつゝありと云ふ終りに現在出席しつゝある各學年生徒數は左の如し

第一學年　二三　第二學年　三一
第四學年　一四

尙附屬幼稚園は三浦校長園長を兼ね目下六十一名の幼兒を收容し二名の保姆が保育を掌れり此れに關しては項を改めて記載する機會あるべし（完）

●甜菜の試作及拆分成績（續）

更に試作を繼續して平年に於ける成績を觀察すると同時に數年間の平均成績をも考察するを要し且又施肥試に關しリグテル氏の所謂中位の量を（一反步に付窒素四基燐酸六基）及最多量（一反步に付窒素六五基酸八基）の標準に就て更に試作を重ねて經濟上の利害得失を研究するを要す

靈島及黃州に試作したる甜菜は單に分析の材料に供せり元山は中途試作を廢するに至たる爲に成績報告を欠くは遺憾とす

糖分檢定成績

糖分檢定用の供試品は圃場の兩對角線中より適宜採掘し五個乃至十個の甜菜を一回分析に充て糖分はポラリスコープに依り純糖率は所謂シヤイン、バーレ、ライン、ハイトにして液汁の比重を測定しブリツクス氏の當に依りて設算したるものなり

採集月日	區別		根の一本平均重量	液汁中の糖分	純糖率
九月二日	無肥區		二六九、〇〇〇	一七、六五	九三、
二日	施肥區		一七七、〇〇〇	一六、三九	八四、
九月十三日	同		三三一、〇〇〇	一五、一三	八九、
十三日	同		四四四、〇〇〇	一三、五五	九〇、
九月二十九日	施肥區	大	七六、〇〇〇	一三、三五六	九三、
		中	三四、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
		小	一一七、〇〇〇	一四、一二四	九六、
十月二十四日	無肥區	大	三六七、〇〇〇	一五、六六三	八八、
		中	二四四、〇〇〇	一六、一三八	九〇、
		小	七四、〇〇〇	一三、八九六	八六、
	施肥區	大	三二、〇〇〇	一一、九三三	八〇、
		中	二九、〇〇〇	一一、八四五	八二、
十一月十一日	無肥區	小	九四、〇〇〇	一一、六〇三	八二、
	施肥區	大	九六、〇〇〇	一一、九七七	八四、
		中	二五、二〇〇	[illegible]	[illegible]

●日の丸國旗の起り

浮世ぐさ

日の丸を始めて國旗として用ひしは、薩摩藩より昌平丸といふ長さ二十四間の大船を幕府に獻上する時、此の旗を押し立てゝ品川沖迄乘り行きし時にて安政二年二月二十五日なり、卽ち今日の國旗の日の丸はこれより轉用せしものなり、サテ其の由て來る所を問くに是れより先き、嘉永七年七月朔日、島津齊彬公右の昌平丸獻上のことにつき閣老阿部伊勢守と、營中に於て面談し、彼の獻上船回航のことも近づきけるが風波の都合にて何國に漂はんも知りがたし、御國船總印しありて然るべしといひけるに、閣老は只今國事多端にて國旗の調べ所にあらず、貴邊御見込あらば承はらんといひしに、齊彬公申すやう、恐れ多きことながら大体の見込はつきて既に水戶尾張宇和島公其の他の外樣にも內談して同意を得しが、異國にては日本を稱して日の本の國とも日の出の國とも呼ぶべければ、國名にも相當し又天照太神の天の岩戶を出御遊ばしてより、此の日本開けし日に生るゝ有り難き國なれば日の丸こそふさはしけれと、込をつけ居りしと答へしに閣老も至極贊成したれば齊彬公は卽ち日の丸旗の雛形二種に書面を添へ御小姓役井上庄太郎を內使として、辰の口の阿部閣老に送りたるに當時各國の旗章に類似のものもなく旗號もよかるべしと其の筋の評議にて七月の十一日に至り閣老より「大船製造に付ては、異國船に紛れざるやう日本總印は白地日の丸幟相用候やう仰せ出だされ候」と一般に達せられたり、是れより日本の船印は一般に日の丸を使用することゝなれり、而して翌年の二月かご島より廻航し來れる昌平丸にも矢張り此の日の丸の旗を揭げられありたり又栗本鋤雲の包庵十種にも日の丸に就ての說あれども幷は右の話しと大同小異なれば別に說くの要なし

小說 新不如歸（二十四）

篠原嶺葉著

父の遺書を見た義祐は、悲みのあまり一時は其に死なんとまで思ひ結めたが、また思ひ返して、只管父の怨讎を慰めん事のみ心がけ、其時機の來れかしと、密に時機の到るを待ちつゝあつた。

子を見ること親に如かず、祐後が義祐に遺言したのは、其の遺志を果すべき才能があると見込んだからである、寔に義祐は幼少の時から怜悧な性質で、成長するに從ひ益々其の美質を發揮して祐後は二なき者として非常に寵愛して居つた。

其の皮職を陸軍に奉ずるや、忠君愛國の至情に富み、上に阿らず下を憐み、寔に好個の靑年士官であつた、さればこそ陸軍部內で[illegible]其彼男も[illegible]智仁勇を兼備してると言ふ評であらう。父祐後の日記[illegible]たばかりの時代で[illegible]、父の[illegible]

人目を憚り、遠く須磨の濱邊に密會して、國防の圖面を賣り渡したは何故であらう、一萬や二萬の金子が欲しくて、穢多非人も憚るべき卑劣の行爲を爲たであらう、あらず、あらず、西脇が家は財產家と言ふ程にあらずとも、數萬の財產は確に有る。況して身は陸軍大尉として生活に足るの俸給を受けてるのである。僅か二萬や三萬の金子に目が眩む程の西脇でもあるまい。しからば何の必要あつてかゝる怪しき行動をしたであらう。發狂か、あらず、かれは今も八並勝れた愛國者で、人に優れた孝子である。しからば他人に賴まれて余儀なくしたか、あらず、[illegible]、惡事と知つて引受くる[illegible]此後の行動で察するが宜い[illegible]

攻究するにも其目的を以つてし、殆んど十ヶ年の星霜を經て大尉となつた今日まで、唯の一時でも亡父の遺訴を忘れたことはなかつた。

しかるに義祐が待焦れた、亡父の遺志を果すべき時機は來つて、今や日露の風雲は益々怪しく、在野の志士論客は口を極めて暴露の征討を主張し、在朝の功臣も又一面穩かに交涉すると共に、一面に着々戰鬪の準備を整へ、卒と言はゞ百萬の貔貅一令の下に活動するの形勢となつて、少壯血氣の軍人は腕を鳴らし劍を撫でゝ、一時も早く宣戰の大詔の下るを待ちつゝあつた。況して西脇の心中の愉快は甚麼ものであらう。血は沸返り肉はブルブル躍つて、一日千秋の感がするのである。

かくまで亡父の遺志を果さん事に心血を注ぎつゝある義祐が、敵國と附狙ふ露國陸軍大佐[illegible]と密に姿を變へ

●龜屋支店開業御披露●

今般左記之處に支店を設け從來の營業振に一層の改良を加へ專ら洋酒食料品食器具類販賣仕品質之精良は勿論價格之低廉を旨とし本日より開業仕候間何卒本店同樣倍舊の御引立を以て不拘多少御用仰付被下度伏て奉希候頓首

西洋雜貨各種
西洋酒食料品
洋菓子鑛泉水
洋食用器具類
葉卷紙卷煙草
陶磁器硝子器

京城本町三丁目 龜屋商店 電話一二七番
京城本町一丁目 龜屋支店 電話八二七番

追て聊開店の祝意を表する爲め特に本社より取寄申候生ビール開店三日間に限り各位の御玩味に供度候間何卒賑々敷御入來の程奉懇願候

辯護士開業

小生神戶大阪各裁判所判事關東都督府判官を歷任し以て韓國政府の囑託を受け法部裁判所事務補佐の任に當居候處今般辭任の上當地に於て辯護士業務に從事し左記請件法律事務誠懇切に取扱申候
一民事、刑事、訴訟代理、辯護、鑑定輔佐
一諸官廳に對する請願
一定款及契約書起案
一民商事に基く計算事務

明治四十一年五月

大阪地方裁判所所屬 辯護士 正七位 岡田榮
事務所 京城旭町二丁目十八番戶民團役所橫通り
出張事務所 京城[illegible]前

廣告

[illegible]諸君の便宜を圖り新に事務所を銅峴に開設し事件の大小難易を問はず直接其囑託に應じ懇切に法律事務を取扱ふ

辯護士 明法學士 前代議士 高橋章之助
事務所 銅峴三十二統九戶（明治町突當） 電話二五六
本宅 京城本町五丁目 電話二一四（長距離）

謹告

在韓淸國人
エジプト煙草及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶
六神丸特約販賣 但有名なる上海製造のもの御座候

大淸安徽頭彩 金壹萬圓 第三十一次（陰曆四月十日陽曆五月十日）開彩
湖北頭彩 金五萬圓 第七十八次（陰曆四月二十日陽曆五月廿日）開彩 第七十六次 陰曆四月廿八日陽曆五月廿七日
江南頭彩 金壹萬圓 第十七次 陰曆四月十五日陽曆五月十五日 開彩

確實發賣 遠隔地方御購求希望者は爲替金並書留信料添贈急速御用命通可賭付不誤

定價
湖北彩票全紙金七圓五拾錢 小切八拾錢
江南彩票全紙金七圓 小切七拾五錢
大連彩票全紙金壹圓參拾錢
安徽彩票全紙金壹圓參拾錢

西洋雜貨商 源源號 京城永樂町水標橋二宮街

梅毒にて苦む御方は急ぎ一劑試み給へ
速に全治す藥効なき時は返金す

百人百治 濕血丸（しつけつがん） 價一圓

よこね、かんそう、ほねうづき、ようばい、そう、りん病、子宮病、じしつ、一切、がんがさ、るいれき、たいどく等に特効あり

右藥は米國醫科大學教授博士（マンキリン氏）の明治二十五年十月新發明せられし良劑にして輕きは平廻り重き病は一二週用ゆれば速に全治す此藥は我日本にありふれたる梅毒藥とは異なり服用して決して口中いためず飲食物に禁止なし營業勤務に妨害なし身体衰弱せず頭髮ぬけず養生中他人は勿論家內のものにも知れぬ世話なく全治する事保證す但一週間分金一圓

調劑本店 大阪 松本快活堂
韓國一手販賣 京城新町 松本儀祐
[illegible]到る處の藥店にて販賣仕候

●取消　昨三十日發刊本紙第百五十六號社說李完用君に與ふの書中事實相違の廉を發見せしに付右相違の點を取消す

地方弊政の除却
（京城新報）
邦人觀察使の必要

韓國統治の實蹟を擧るに於て、樞要なる問題は地方行政の弊害を除去するにあり、故に今回は統監に地方の視察を勸告したりき韓國地方の弊政は殆ど言語に絕するの狀態にて、寧ろ無政府の優れることを感せずんばあらず、觀察郡衙ありと雖も唯夫れ租稅の消費所に過ぎざるなり、所謂治國平天下の要道なるものは地方牧民官の解せざる所なり、官衙は地方人民を苦むるの府に過ぎざるの觀あり、弊政深く浸潤せり、之を鑿革する蓋し容易の業にあらざるなり、觀察使を中央に會同して、一場の訓諭を以てするが如きは、進步せる邦國の爲す所にして、韓國の現狀に於ては何等の益なく殆ど徒勞たるなり、然らば如何にして地方弊政を除去すべきか、要するに治蹟の擧るを擧らざるは地方官の人物にあり、現在の觀察使を以て其實蹟を擧げむとするは、木に緣りて魚を需むるの類に非ざる乎、人或は言はむ之が爲に各道に日本人書記官を配置して補佐の任に當らしむと、然れども之れ只補佐に過ぎず建策を用ゆると用ひざるは上官の任意なり、所謂伊藤公の掩名取實は事實に於て破れたり、今更地方に迄繰返すの愚を擧ぶべからず、宜しく邦人の適材を擧て觀察使となすべし、現任の觀察使を訓諭鞭撻して任務を遂行せしむるは、日暮れて道遠しの感あるのみならず、到底徒勞たるに終るべし、惟ふに地方の弊政を除却せむには其吏員を戒飭して、先づ第一に苞苴賄賂を斷絕せしめ、民をして安然業を勵ましむるにあり、要は唯是のみ、此簡單なる問題が韓國に於ては容易に行はれず從來牧民の職に就くの目的が人民を誅求して財を蓄ることにあり、希望既に茲にあり其行爲知るべきのみ、此慣習的兩班根性の中に生育せる者を以て、其弊害を蕊革せしめむとす恰も猫を以て鰹節の番をなさしむるの感ありと云ふも大なる失當にあらざらむ乎。若し夫れ觀察使全部を擧げて、日本人を任命することの、當局に困難なる事情あらばせめて二三の觀察使にても可なり、模範的地方行政の任に當らしむべし、當局者の最も注意すべきは人物の撰擇なり、斯くして良好の成蹟を擧るに於ては、各道改善の模範とすべし、地方の弊政にして除却せらるゝに於て、韓國統治の意義を明にすることを得べし、之れ統監政治の急務にあらずや。

●漢城便り

▲余輩は近時伊藤公の尊容を拜する每に只氣の毒に感じ落淚を禁する能はざる者に有之候曾ては英雄の袖に縋がりて英雄的狂言を試みられたる事も有之候得共如何にせん海外政治は實力を主こ致候を以て實力皆無を證據立てられたる今日公が殿寺に阿彌陀然どなられ候事も是非なき次第と被存候

▲人に欠ぐべからざるものは信念に御座候特に政治家に在て而りと存候彼グラッドストン、ビスマーク、セシル、ローヅの如きは夫々信念を以て立たる者の由に御座候悲かな我伊藤公には信念の跡見ね不申候單に一身の榮辱を念とせられ候爲其行ふ所砂上の樓閣に了り申候對韓問題の決せざるは全く公が信念を欠げる爲に有之候

▲寧海に於ける後機式歸順式は土匪を閉息せしむる上に於て奏効致候而れども半島に於ける伊藤式歸順票は目下我討伐隊の行動を妨げつゝありとの事に御座候其理由として傳へらるゝところによれば暴徒は歸順票を携へ良民に化けて白晝公然我討伐隊の行動を偵察するが故なりとの事に御座候

▲皇城靑年會の總務チエレット氏は歸米被致候而して萬國基教靑年會同盟幹事なる在東京米大使館付譯官ミユラー氏來京相成候思ふに皇城靑年會が上海を離れて東京に屬するも遠からずと被存候

▲目下滯京中の觀察使にして暴徒と或者との氣脉を通ずる中介を爲すものありとの風說を耳に致し候併し余輩は異逆にと考へ申候只彼等が漢城今日に於ける韓弊日卑の實狀を目擊し任地に歸りて韓弊日卑主義の宣傳者とならんことを恐るゝものに御座候

▲米國政府と大博
（紐育電報）

米國政府は日本大博覽會に就き各州の贊同を覓め居れり（卅日東京經由）

▲南清革命黨と佛國
（北京電報）

駐佛淸國公使は革命黨が安南を通過する際國交上取締を厳にされたりと佛國政府に交涉せるが佛國は之に對し利益交換的承諾の意ありと外部に報告せり（卅日東京經由）

▲選擧法違反數
（東京電報）

內務省の調査によれば今回の總選擧に關する選擧法違反は今日迄に檢擧せられたる者金品の贈與三百二十九件八員二千百二十七名にして暴行脅迫七件拾名僞票及代理投票四拾五件七十一名なり（二十九日發）

雜報

●統監の觀察使引見

伊藤統監は明一日（月曜日）午前十一時より各觀察使、漢城府尹を官邸に引見し各大臣次官列席の上一場の訓示演說をなし且つ觀察使、漢城府尹の地方行政組織改善に關する意見を聽取する筈なり

●觀察使會議（第六日）

昨日は午前十時半開會出席者前日に同じく李總理大臣列席し任大臣議長席に木內次官副議長席に就き諮問事項第六「宣諭使及び宣諭委員の曉諭效果」第七「暴徒歸順に關して觀察使の採りたる措置及び其效果如何」の二項に就き審議し午後四時散會せり本日は日曜日に付休會明日は別項記載の如く統監邸に參集す

●徵稅と警察

徵稅事務を度支部所管の下に稅務署をして取扱はしめ各道警察事務を警視廳及び內部警務局の直接管轄となせる現今の地方行政組織は韓國の現狀に適せず國民の誤解を生せしむる原因にして其の効果擧らざるを以て徵稅警察の權を觀察使及び郡守に與ふべしとは國民一般の希望にして前廳の各道書記官會議及び今回の觀察使會議に於て各書記官各觀察使及び漢城府尹は此の問題に關し熱心に現制度改正を唱へ居る由にて明後一日の統監邸會議に於ても彼等は此の希望を演述するなるべしと云ふ統監が果して此の意見を採用するや否やは疑問なるも蓋し今回の會議に於ける大問題なり

●東洋協會招待會

東洋協會にては去る廿七日目下東上中の曾禰副統監、大島關東都督、大島臺灣警視總長等を三井集會所に招待して晚餐會を開きたり來會者は桂會頭、小松原幹事長を始め岡部子爵、田健次郎、柴田家門、大岡育造、加藤政之助の諸氏其他會員百五十餘名にして席定まるや桂會頭起て開會の挨拶をなし曾禰副統監の渡韓後にたける功績を舉げ東洋協會の調査研究によりて政府に建議したる拓殖會社は今や協會の手を離れたるも將來の施設については從々會の煩はすもの多きを述べ又大島關東都督が戰後引續き租借地の經營に任じ着々其緖に就けるを賞揚して歡迎の辭となし次に曾禰副統監は來賓を代表して謝辭を述べ且韓國に關して一言希望するところありて曰く余は就任以來邦人の韓國にたける事業の成否について調査したるに邦人の經營は動もすれば一度着手して中途挫折すれば直に拋棄して顧みざるもの多くために韓國にたける邦人の事業未だ成らざるを發見したり余は之れより後に歸らざる決心を以て韓國の事に從ふべしとす諸君も宜しく一旦韓國に手を下さば再び後に歸らざるの決心を以てせんことを望むと云々夫より大島關東都督の談あり八時散會せり

●豫備金支出裁可

廿九日左の通り裁可ありたり

金二十八萬五千圓　警備電話設備費支出の件

金一千百八十四圓二十七錢　法部任用旅費增額支出の件

金一千八百九十圓　軍事敎官慰勞金支出の件

金二千七百六十二圓四十七錢　臨時軍用及鐵道用地調査會費支出の件

●平鎭鐵道敷地收用未了

平壤鎭南浦間に敷設すべき鐵道敷地の收用未了の所少からざるを以て內部大臣は左の各坊面內にある土地家屋の賣買、交換、讓與、貸與、典當など該坊面內に於て家屋又は墳墓を新建を禁止すべき旨告示を發したり

平壤部　龍山坊

江西郡　古崗坊、仍次串坊、沙頭坊、鎭林坊

龍岡郡　金川谷面

三和郡　元塘面

●產物は如何にして輸出さるゝ乎（三）

小豆

一原產地より仁川港までの運賃

イ、海路韓船にて運搬するとき　三十錢

ロ、鐵路に依るとき　六十錢乃至八十錢

にしてロの道の遠近に依りて相異なること勿論なれど仁川港へ集散する大豆にして陸路を採るものは太田金川物等を主とす金川よりするときは六十錢太田よりするときは八十錢なり

二當港より外國仕向港までの諸掛り

（甲）韓人の手より外國商人の手に渡る迄の分

イ、陸揚賃　七錢

ロ、移し賃　五錢

甲は普通全部荷主側に於て負擔し居れり

（乙）外國商人の手より船積までの分

イ、斗量場使用料　三錢

ロ、日韓仲買人の手數料　三錢

ハ、輸出組合積立金　三錢

ニ、繩叺代　十錢

ホ、荷造費　三十二錢

へ、輸出稅　七錢五厘（從價五分）

にして是等の全部は外國商人に於て負擔し時に依りてはイロの一部を韓人に於て仕辨することあり

（丙）船積後外國仕向港までの分は

イ、運賃（大阪神戶門司長崎迄）　四十五錢

ロ、保險料（百圓に付き）　二十五錢

斯くて仕向港到着の上は前記米の場合と等しき手數を要し且つ種々商習慣に依りて支配さるゝも前記及後に記すべき彼我商習慣と重復するの嫌ひあれば茲には畧す

小麥

一原產地より仁川迄の運賃

イ、韓船に依り海路を採るとき　三十錢

二當港より外國仕向港までの諸掛り

（甲）韓人より外國商人の手に渡る迄の分は

イ、陸揚賃　七錢五厘

ロ、斗量人足賃　三錢

ハ、移し賃　五錢

ニ、問屋口錢　二十錢

イより八迄は小豆其他と同じきも二即ち問屋口錢は石價の割に高價なし然れども由來問屋口錢なるものは古風の日本問屋と同じく人に依りて區々一定せず又店に依りて石に付き幾何と云ふあり或は金高を以つて割當てるありて同じからざるも大要一石二十錢と見れば大差なけん

（乙）外國商人の手に渡りし後船積迄の分は

イ、斗量場使用料　三錢

ロ、日韓仲買人の手數料　三錢

ハ、輸出組合積立金　十錢

ニ、繩叺料　三十二錢

ホ、荷造費　七錢五厘

へ、鮮賃　十二錢

ト、輸出稅（從價五分）　三十三錢

（丙）船積後外國仕向港までの分

イ、運賃（大阪神戶門司長崎迄）　四十五錢

ロ、保險料（百圓に付き）　二十五錢

にしてイは橫濱ならば六十七錢東京ならば七十三錢なり

●選擧人名簿調製

前號所報の如く仁川商業會議所にては昨日漸く選擧人名簿の作製を了りたれば明一日より向ふ三日間一般の縱覽を許すべしと而して該帳簿に依れば本年の選擧權所有者は總數六百廿名內一級二十九名二級八十名三級五百十七名なるが被選擧權所有者は右六百廿六名より被選擧權を有せざる者五十八名を控除したるもの即ち五百六十八名にして今これを昨年と比較するときは實に左の如き減少を見るなり

選擧權所有者	四十一年	四十年	減
一級	二九	三五	六
二級	八〇	八七	七
三級	五一七	五九二	七五
總數	六二六	七一四	八八
被選擧權所有者	五六八	六四六	七八

●教育倶樂部

第六回教育倶樂部は廿九日午後八時より日本人商業會議所樓上に於て開會せり會衆九十餘名大僧都岩井智海師の佛教の本旨に付講演あり終つて京城樂友會の淺井氏のヴアイオリン、ハーモニカ、山脇氏の獨唱中川高橋二氏の仕舞稻本坂田二氏の尺八等あり次に名譽會員俵次官の韓人敎育に就き講演あり續いて京城四絃會の河野、森、三島井上四氏の薩摩琵琶あり餘興として三遊亭千朝の落語及講談ありて非常の盛會なりき

對星樓茶話

▲韓國政客來り、談間島問題に及ぶ曰く北間島は淸國の領土也、日本漫りに兵を駐屯して管理するあり、聞く淸國は間島を世界に開放し各國均霑の地と爲さば日本獨り其權力を用ゆるを得ずと、余曰く已に淸の領土と稱する極めて不正當なり、今や韓の外交は日本の掌中に在り、日本帝國は淸國國境の保護を爲しつゝあり、足下の外交論は間島を藉りて當世流行の排日論を陳說するなり韓客遂に辭無くして去る。

▲韓國風說又起る曰く副統監歸韓せば李完用內閣更迭すべしと、是れ反響を求むるの風說なり。

▲天下は廻り持ちなり、韓人の天下は廻り持ちなり。

▲兩班大官の來求猟官に專ずる復辟時代は裁判制度の進步によりて漸く退らんとす、是れ韓國の社會問題なり

▲暴徒鎭壓を如何にして程度に成功すべきや否やの問題を解決する一方法は、如何なる程度まで鎭壓すべきかを定むるに在り是れ統監の責任なり

▲朝鮮の札鵙は亂世に馴れて極めてノロマなり、朝鮮の犬は太平を願ふて常に吠ゆ。

▲李完用に對する九萬圓相當の土地回復の告訴は恐らく成立せざるべし。

▲十五年前に於ては遷都論を聞くものもありき、十五年後に於て斯る愚論を主張する日本人あり。

▲平安北道觀察府を寧邊より義州に移す議は全く長津高原を橫斷したる扶餘族南下道路を忘却したるものなり、北京政府さへ長白州を設定する今日に於て此道路の要衝より義州に移すとは如何なる理由あるか義州に移す程ならしめば、定州府は取るべし。

●在外新聞發賣禁止

內部大臣は二十九日附にて米領布哇在留朴一三發行の合成新報十八號、北米桑港在留鄭在煥發行の共立新報八十號は何れも治安を妨害するものと認め發賣頒布を禁止したり

●愛國生命保險會社

同社にては從來當地の業務を代理店に扱はしめつゝありしが業務膨脹の爲今回新たに出張所を本町四丁目に設置し主任を同社監事淸水銀藏氏に定めたる由なり

●大內代議士

木浦居留民の一人にして籍を進步黨に置く福岡縣撰出代議士大內暢三氏は昨日來京せられ原金旅館に滯任中なり

●鈴木才太郎氏

陸軍技師鈴木才太郎氏は今回韓國駐劄軍經理部付を命ぜられたり

●富田仁川民長上京

富田仁川民長は或る重要事件を帶びて昨日入京統監府其他を歷訪せり

●西部署長の後任

元公州警務署長たりし警視鈴木重民氏は當廳署長轉任の後任として西部署長に任ぜられたり因に氏は警察事務に關して極めて熟達し夙に敏腕の聞ね高かりし人なりと

●阪井氏辭任

京城開業醫阪井義明氏は今般歸國に付民團議員を辭任せり

●辭令

二十九日附

理事廳副理事官　從六位　永沼直方

任統監府法務院評定官叙高等官五等

判事正七位　高木安太郎

任理事廳理事官叙高等官六等

●韓官任命

廿九日左の通り

矢鍋永三郎　任財務監督局事務官叙奏任官三等

深尾道恕　任稅關事務官叙奏任官三等

市川豐吉　任關稅局鑑定官叙奏任官三等

公人私人

△宇川一正（陸軍中將男爵）　二十九日大邱より來り巴城館へ投宿

△眞崎甚三郎（陸軍步兵大尉）　同上

△井上幸藏（瀬戶鑛山技師）　不知火旅館へ投宿

△武智正胤（愛媛縣辯護士）　三日月旅館へ投宿

●仁川女學校開校式

仁川高等女學校開校式は來る六月中旬頃擧行する豫定なりといふ

●岩井智海師の病院慰問

同師は再昨日衛戍病院を訪ひ患者に對し慰問講話及び小冊子の寄附をなし終て餘興として蓄音機の吹奏ありし由

●近事片々

▲統監　宋農相の辭職を聽許する能はざる事情あり、爲に慰諭留任せしむとは異なる乎

▲亦曰　宋農相の辭意は統監に對する威嚇なりとの風說あり或は然らむと云ふ者あり

▲伊公　と宋君何等の關係あるか片々の窺知する所に非ず烟の揚る所火有との譬あり

▲情實　は排除すべし情實の蟠る所必ず弊害あり公の明智此事無らむ有ば斷然排せよ

▲女子　興學會を宗親府に開く各大臣臨場す趙法相のみ左右夫人を帶同す一際目立つ

▲趙法　相何處に行くにも光岡夫人を伴ふ双方榮譽の如く馬車にて乘廻す寧ろ滑稽也

▲十年　以前阿久澤某米國より歸り麴町に邸を構へ夫妻每日二頭馬車にて乘廻たりき

▲自分　等のみ光榮あるが如く思ひ世間は嘲笑冷罵す趙君の馬車乘廻し亦同一轍失笑

▲後湖　學會總會に於て學務局長尹氏と內閣書記官魚氏と議論衝突互に降らざりしと

▲學務　の尹致旿は私立學校の弊を說き內閣の魚鎔善は官學の弊を說ての衝突と噴飯

▲大韓　每日申報社々運漸次衰退し維持に困難なりと報する者有近傍の命穴如何せし

▲林檎　助の淸國談端なく霞ヶ關物議の種となる由來林は憎まれ者其辭案外の軟骨也

▲韓國　で嫌れ淸國で厭はれ今度亦伊太利では如何華美の舊國嫌れる事六ヶ敷からむ

▲伊藤　公脅獅子を通て西園寺へ無暗に辭職の時機なるを諷せりご眞ならば伊公豪と

▲一說　には今辭職せるは非立憲也こ伊公西園寺に注告せりと云ふでは目先が見へぬ

▲風流　宰相陶庵侯文士を瓢屋に招て雨聲會を開く斡旋者例に依り竹越と橫井の兩人

▲文士　は鷗外漱柿獨步宙外鏡花小波桂月等外數名也宙外の追分節は最も振ひたりと

▲藝妓　は新橋の粹を集む此中侯の寵妓た鯉無論在料理は常盤にして最も粹の會合也

▲政治　の手腕は兎に角平民的に斯る瀟洒の會合を爲すは獨り此侯のみ氣品俗を拔く

▲米國　議員ホボソンなる者日本に米國の太平洋主權を認識せしめざる可らずと力む

▲主權　を認むる迄每年四艘の戰鬪艦を造て數の上に於て好戰國民を屏息さすべしと

▲洋鬼　には隨分突飛の氣紛れ者あり恰も怖れる吠る犬の如き態度也只抱腹絕倒のみ

▲常に　挑戰的態度を示しながら日本を好戰的國民と評す與斗村の儘直に返上致し候

▲國が　廣い丈け馬鹿も多い併し苟も議員たる者の言動と思はれず言論の自由も極也

▲相撲　八日目水交社餘興にて回向院は休場せり蓋し水交社にても雨天にて流れたり

●東京電報 [illegible]

●中山部長の出發 [illegible]

の途に就けり

●森林委員會議 [illegible]

に協議すべく我よりは加藤總領事委員として六月初より會議に着手する筈なり（以上三十日發）

●貨物鑑定價格市價 [illegible]

に就ては前三記せる如く市價崩落と共に著しき懸隔を生じ爲めに輸出商は著大なる影響を蒙むり其筋に陳情するもの尠からざる結果稅關當事者の實狀調査となり遂に過日の大阪より赴任せる松田仁川稅關鑑定課長は鋭意市場と鑑定價格との平行に努め別に市價鑑定員を設けて日々實狀を踏査せしめ居れり而して過般一問題となりし各地稅關鑑[illegible]も大に鑑みる處ありて愈々各地相互連絡をとり一二可及的其鑑定格の同一ならしむる爲め關稅局鑑定部長は目下大阪其他に於て視察中なりと云ふ今仁川に於ける現行鑑定格[illegible]

白米●二度搗●　一等百斤ニ付五圓五十錢、二等同五圓三十錢、

同●三度搗●　一等百斤ニ付四圓六十錢、[illegible]等同四圓四十[illegible]

玄米●　一等百斤ニ付三圓七十錢、[illegible]

大豆●　特等百斤ニ付二圓九十錢、一等同二圓七十錢、二等同二圓六十錢、三等同二圓五十錢

小麥●　一等百斤ニ付二圓四十錢、二[illegible]二圓三十錢、大麥百斤ニ付二圓二十錢[illegible]五倍子同十六圓、牛皮同二十七圓、牛[illegible]

●東京電報

●中山部長の出發 中山衆議院…本日新義州出發赴任の途に就けり

▲森林委員會議 鴨綠江森林條約の細目は日清兩國委員間に協議すべく我よりは加藤總領事委員として六月初より會議に着手する筈なり（以上三十日發）

●貨物鑑定價格市價 韓國産輸出貨物の鑑定價格と市價との均衡に就ては再三記せる如く市價頽落と共に甚しき懸隔を生じ爲めに輸出商は甚大なる影響を蒙むり其筋に陳情するもの少からざる結果稅關當事者の實地調査となり遂に過日の鑑定價格引下げを見たる譯なるが其後新に定價格の不統一に就ては其後當局者に於て…大阪より赴任せる松田仁川稅關鑑定課長は…

…るに至れりと此回の路口疫病は畜牛に止まり局所に傳染せず五月十九日農商工部より技手一名出張し調査中なるも病疫は路口疫の外他に疑なしと云ふ

白米 一等百斤ニ付五圓五十錢、二等同五圓三十錢…

●土方の確執

敵は龍山味方は京城 雲集する者五十餘名

一昨日の午后五時頃南大門外兵隊屋敷の附近に銃器を携帶する者三十餘名集合し山の手に登るを見たりといふ者あり南部警察署にては此の警報に接するや直ちに巡査數名を繰り出したり

又七時頃南廟附近に兇器を携帶する者數十名集合し尚ほ續々四方より參集すとの報を得て西部警察署は巡査數名を繰り出せり又これと前後して龍山の兵營附近に日人五十名許集合し不穩の狀況ありとの報ありて龍山警察分署は數名の巡査を急派したり市中にはまた多數の暴徒既に南大門外にまで寄せ來れりなど種々の取沙汰ありて氣早の連中は昨年八月の事變に鑑み諸道具の片付を爲す者さへありて未だ其の眞相は詳らかならざるも花說は益々誇大に傳はりて市民は一時戰々競々たりしが漸くにして事實は判明せり

其の事實といふは二三日前より土木受負の團子金分配方に就て龍山の土木受負業上田乙吉と京城の土木受負業田中竹二郎との間に悶着を生じ遂に田中は子分を集めて上田を襲擊せんと企てたり上田方にてはまた早くも斯くと傳へ聞き仁川の岸本某（京城の床梅事曾根田梅吉等これに加勢して逆襲せんと謀り檄を飛ばして味方を招きしに忽ちにして馳せ集まる者五十餘名と注せられあはや京龍間は修羅の巷となりて屍山血河の慘事を演出せんとするの一刹那西部警察署にてはこれを未發に防止せんとて田中方の重なる子分を見當り次第に引致檢束したるより勢ひ込んだる田中方も當の敵を失ふと共に警察の警戒嚴重なるを以て雲集せし人々も何時となく四散し幸に一人の怪我人も出さずして事なきを得たり

●上田重吉は誤り 植田重五郎なり

仁川放火犯にて其筋に逮捕されたる上田重吉は其後嚴重なる取調を受けたるが叙れば自分の姓名は上田重吉と稱する旨を自白せしも文字を解せざるを以て其筋にては前記の如く書し此れを發表したるも同人の郷里にて照會取調べたる所本名は植田重五郎なる旨判明したりと尚同人は鎮南浦にて毆打罪にて重禁錮一ヶ月同八月刑を受けたる如く自白せるも之れ又取調の結果窃盗罪にて重禁錮二ヶ月に處せられたる事も確かめたりと而して同人は一昨日仁川理事廳にて豫審の取調を受けたるが警察の手に逮捕されたる當時は神經非常に昂奮し居りしも目下は頗る平穩にて全く狂人等にてはあらざるべしとなり

●昨日の火事 昨日午後一時十分南大門通二丁目の西裏に出火ありとの警報に接し急ぎ現場に駈けつけ見ると有繋に廣き南大門通りも例のヨボが群をなして其の數萬を以て數ふべく往來も出來ぬほどの混雜にて燃りは市街に雙建ち左なきだにどんよりと曇れる空一段の慘味を帶び巡査は其の間を制止しつゝ右往左往し其の火元の何れなるかを容易に知る能はざりしが白煙のこして忽ちに消し止め其の火元は南松峴五十五統十戸沈享澤の炊事場にして僅かにこれを半燒したるのみにて損害額は約三十圓位ならんと

●仁川支那人の氣燄 仁川第三區衛生組合にては放火犯豫防の爲め每晩夜警を行ひつゝあるが現今受持區域の外商支那居留地にも之れを及ぼさんとて支那居留地側に交渉したるが支那人側に於ては右居留地は支那夜警にて之れをなすに依り御斷り申すとて此旨日本警察側に通牒し來れりと

●盗難の自轉車發見 南山町二丁目の土營商土見儀平が客十月旭町三丁目に居住せし際代價百四十圓の自轉車一臺を盗難に罹りしが去廿九日同店の雇人草野文次郎が南署前の橋居洞六十一統十四戸米商崔昌潤の店頭を通行の際昌潤の弟德成（十二）が稽古乘りを爲せるを何心なく見てありしに其の自轉車が見覺ありて紛れもなき盗難に罹りたるものなるより直ちに南部警察署へ訴へ出で警察署に於て昌潤を呼び出し取調べて見ると客年十月南署田村太吉といへる者より十五圓の質に取り其の後質受に來らざるより流質品として自用し居れる旨を答へ贓品たること判明せしを以て被害者に返附したりと

待合 席貸 京城永樂町一丁目 嬉野 本町五丁目横入

●怪しき牛賣 仁川居牛場へ去る廿八日富平在住の一韓人一匹の牝牛を牽き仁ら入り來りイゴサショと云ふより書記高橋北五郎は之れを檢したるに頗る上種のものなりしかば三十五圓にて買ふことになり代金は明日午前十時に仕拂ふ約束をなし置きたるに翌日十時を過ぎても代金を取に來らぬより聊か不審を生じ右の趣き警察に屆出たる由なるが右牝牛は頗る上種なるに不拘三十五圓の格安にて賣却する所より察する時は或は贓物にあらずやとて目下取調中

●大盗は窃盗犯 咸鏡道安邊文山社南山里生れ當時京城司盈洞金俊玉方に止宿する金秉書（二十）と云ふは何等一定の職業も求めず市內諸方を遊び廻りて時に妓生蝎甫を携ね芝居見などゝ洒落る擧動の怪しき節あつて豫て注目し居りたる西署刑事朴昌植と云ふが再昨日前記金俊玉方に潜伏し居る處を捕ゆて取調べたる處案の如く開城附近に金品二百圓餘を窃取したる上當地に逃れ來りたる者なることを自白したりと

●二百圓の持逃げ 龍山旭橋通り質屋大橋支店の雇人左倉逸馬（二十）は二十九日午前十時京城本町八丁目の同本店へ金二百圓を受取りに往き其の二百圓を受取つてドロンとも何とも言はず消へ失せたり

●北韓の牛疫 五月五六日頃より平安北道雲林の北方十里北鎮西北約二里雲山郡司盈洞陽地站於自里月隱の萩里洞の五ヶ村に類似牛疫發生せしも當時一人として牛疫なるを知れるものなかりしが一韓人の言によれば韓國には六年目毎に如斯病疫發生の例あり本年は其六年目に相當するとの事に付始めて一同傳染病ならんと注意を加ふるに至りしは五月十日以來なり此傳染區域は（病疫發生後病）五ヶ村に傳染せし數四十五頭の多きに及び內七頭は斃死尚一頭近く斃死せんとせり斯く多數の家畜斃死せしは注意の行らざると豫防法なき結果ならん目下各地に傳染せんとするの兆あり此治療法に付ては鹽水にて口中を洗滌するの外方法なしと云ふ然るに韓國獸醫（自稱）は三角形の針にて病牛の脊部及咽喉部に十數ヶ所より血液を出させる結果比較的多數の斃死を見る

●飼犬人を咬む 仁川本町二丁目有馬昌順方の畜犬は一昨日午後三時頃同家の前にて一韓人の股部にみ付き負傷せしめたるより直に該犬を捕へ取調べたるに右は狂犬にあらざるも屢々人に咬付くより畜主に於て嚴重に監禁せしむることゝせり

●困つた主人ではある 仁川花町一丁目岸本常吉と云ふは韓人某を雇ひ毎日使役しながら其の賃金四圓を仕拂はざるより該韓人は其の說諭方を警察に屆出たりとさ困つた主人を持つたもの

●掏摸のスリ損ね 一昨日午前九時頃吉村茶吉と云ふが仁川京町通りを通行し居る際彼方一韓人が突然茶吉の懷に手を掛け懷中時計を掏り取らんとせしより茶吉は有無を云はせず引捕へ京町派出所に突き出せり

●枕木を盗む 一昨日午後八時頃仁川道盤部倉庫に韓人泥棒忍び入り枕木一本を窃取して逃げ去らんとするを番人が認め直に引捕て花房町派出所に突き出す

●本日の精神界

▲メソジスト教會 旭町二丁目名古屋城內日本メソジスト教會にては本日朝夕禮拜及び傳道說教あり來聽者を歡迎すといふ尚ほ演題は左の如し

午前十時 「メリジヨンスの傳」 木原牧師 附聖餐會

午後八時 「食人島ニユーヘブライズの傳道」 木原牧師

▲京城基督教會 日の出町京城基督教會にては本日午前十時渡邊大審院長の講演あり午後七時半より傳道說教あり

盧重禮著、胎産集、右相當ノ價格ニテ讓受タシ 漢城病院內工藤

●琴曲符教授の案出 南山町三丁目伊藤靜代子は今回符を以て琴曲を練習する新法を案出し連日連夜自宅に於て速成教授をなす由なるが其符は最も簡便なるものにて何人にても覺り易く普通稽古法よりも數十倍速かに練達し得るの効ありと云ふ尚ほ同女は獨習者の爲不日符稽古書をも出版する筈

●ビヤホール開業 明治町一丁目本町より入る左側二軒目に今回水茶屋と稱するビヤホール開業したるが諸事輕便に客の求めに應ずる由なれば時節柄漸く賑ふなるべし

●飲料不適 本町九丁目錦光チヤウの製造に係る林皮水、蜜柑水は飲料不適にて其の筋より販賣を禁ぜられたり

●女郎叱らる 一昨二十九日午後一時頃新町南山樓の清次（二十）常盤の二人は逢妓の覺ましに梨忠壇山に上り草花を折り居たるを巡回の巡査に見付け出されれ眼玉頂戴

●新町だより 花は紅世は不景氣蕗張り源助の三月が聞を經つる線香の煙りも淡く何の小女郎が欠伸一つに哀れ表格子の素見客さへ吹き拂はれて辛氣も悋氣もわつた者か春は逗くの昔し雲井の彼方に逃げて行き久方振りに顔見する情夫の深切の失れさへ青葉の夏は來にけれど世間の人氣は此處新町には未だ微醉の鼻歌程も際會ます夕餉濟まして漫ろ歩きの客も時節柄と云ふ体のよき口上に千人力の強みを見せて大概は本町七八丁目にて足を止め五十錢一圓の安價買ひて鼻の落つるに構ひ無き連中ばかり他かぬゝと舌たるき乾女の怨言より樓主の御愁心はまた一層エイと女將が力を入れて見ても威勢の宜いは長烟管の雁首が叶月蜂に辛らく響くのみ之れではと立て直す膝頭失れすら崩れて眉の根に寄りて集るは此の社會に大の禁物なる散さ諸方の仕拂ばかりチモ厄介事ならぬ浮世は憂いもの辛らい者と今日此頃何れも吐く息は實に青葉時なりけり

●天氣豫報（自三十日午後六時 至卅一日午後六時）

はれ

韓國氣象概況（五月三十日午前六時）一般ニ北又ハ東ノ風吹キ南部ハ曇天其他ハ概子晴天ナリ

御案內

東京最新流行夏衣種々取揃へ陳列有之候間何卒御來觀多少に不拘御買上被下候樣只管奉願上候

京城本町貳丁目 三越呉服店出張所 電話三五二番

公告

一金五百圓 但ピヤノ代トシテ

右ハ當地三井物産合名會社出張所ヨリ當民團立第二尋常高等小學校へ寄附相成候右公告ス

明治四十一年五月二十九日 京城居留民團民長 熊谷頼太郎

速成新法 琴曲符稽古開始 南山町三丁目九十六番戸 伊藤靜代

●統監府 ●各官衙 ●購買組 御用達

◉蠟引最新式機械應用◉

京城南山町三丁目本願寺下 阪洗濯店

今般最新式機械を購入致し且つ熟練の職人數名を更に聘し極力大勉強仕候間何卒倍舊の御愛顧御用命の程伏而奉希上候 敬白

警視廳檢查濟 氷卸大販賣 京城曙町（明治湯前）龜屋橫町下る 森田商店 （取次電話九二六）

謹告

今般京城南山町二丁目十一番戸に出張所を設け候間多少に不拘御用命奉願候

和洋館船艦室內裝飾品製造輸出入 小澤裝飾店

本店 東京市芝區兼房町 工場 同三田四國町 出張所 旅順鎮遠町 大連山馬町

謝近火御見舞 南大門通三丁目（電話一二二） 丸天 福田又兵衛支店

謝近火御見舞 南大門通 三好和三郎 電話一五三番

謝近火御見舞 昨近火の節は早速御見舞を辱ふし奉拜謝候早名伺洩もすくなからざるべくと存じ午略儀紙上にて御禮申上候 南大門通 三浦商店 電話四九番

月刊 朝鮮 每月一回一日發行 定價廿錢 郵稅一錢 一切前金 京城本町二丁目 日韓書房

●脚氣病妙藥の親玉● 藥王散 此藥王散は如何なる難症の脚氣病とても雖も全快す 京城本町七丁目 高橋三光堂

華族様ご口説 (二)

西の宮お藥の述懐

●別座敷の六枚屏風

前にも申しました通り、大勢の姐さん達が寄つて集かつて妾を取り圍き、チヨイと藥さん是非御前様の言ふことを肯いて下さいと又妾達の顔も立てゝ下さいと五月蝿やうに口説きましたが私は只もう羞かしいのみで下俯向ひて默つて居りましたが頓て其の中の年増の姐さんが私の前へ参りまして申しまするには「お前さんに斯んなことを勧めましては私達の立ち場からはチト筋が違つて極りの悪い咄なのですが然し外ならぬ御前様のこと什麼か無理な願ですが叶ゑて遣つて頂きたいのですがネ……お藥さん返辭は什麼です」と、のつぴきならぬ談判マサカ厭ですとも斷られず、揚句の果に、おや姐さん達の顔を立てゝといふことになつたのです、

藥ちやんが承知の上はサア御前彼方へと豫て用意をして置た別坐敷へお坐換へとなりましたので、己むなく妾は姐さん達に送られて行つて見ますると、ソコに廻した六枚屏風が直ぐと目につくのではありませんか私は急に身体が堅くなつて仕舞ひましたがもう斯うなつたら仕方がありません、ウジ〳〵しながらトウ〳〵其の六枚屏風の中に……………御前と差し向ひに坐りました、其の時は只もう胸がドキ〳〵してまるで早鐘でも打つやう……スルト御前が大勢の姐さん達に「コラ〳〵其の方共は予が其處へ參る迄他出はならん」との仰せ、ソレが又大層大きな聲なのです、如何に何んでも當節の殿方などには其のやうな馬鹿々々しい事は申された譯のものではありませんが併しソコが其の時分の華族様イザ仕方がありません、唯屏風の外につき番をして居る姐さん達がよい面の皮です、彼れ是れする内に御前は妾の顔を覗き見て「ア、面白いの……らく其の方は何どいふ」と鷹揚に申されました、妾もさう何時迄も無言で許りは居られません、片唾を呑んで居た口を開いて「ハイ……アノ御前」とソレもやつとの思ひしまするど御前は「何時見ても別嬪だ」と申されましたから、私は此處ぞと一生懸命になり「アノ什麼か今日は此れにてお歸し下さいませ、其の代り世間へ披露さへ遂ぐる證人に立てゝ御前のお顔はキッと立てるやうにいたしますから」と、泣かない許りに申し上げますと、流石は鷹揚な殿様氣質「予の顔を立てるとあらば今日の所は是れでよろしい」と御聞き濟みになりましたから私はもう嬉しさ一杯の飛び立つやうな氣持ちで屏風の中から飛んで出ました、すると屏風の外に居つた姐さん達が「お藥さんお蔭で安心しました、何もソンなに急いで歸らなくとも可いではありませんか」と今度は私を嬲り口調で…………(つゞく)

各國時計並附屬品類

開業披露の爲め薄利多賣の先驅となり五月廿二日より向三十日間左の通り大割引 各種時計及附屬品とも實價より二割引 此段御購求被成下度此段奉願上候

追て修理の儀も低廉を主とし入念御用御勤め可申候

京城明治町一丁目 金化堂時計舖 電話

謹告(二)

日本燒 支那燒 煉瓦製造販賣

日本燒は有名なる平壤製にして目今の産出高二萬五千以上今回鐵道管理局と運賃低減の契約を致し如何程大口の御注文にても調達致すべく値段も成行相場より安價に御契約可致候間多少に不拘御下命被下度願上候

京城旭町一丁目 平壤京谷煉瓦製造所代理店 益田商店

能代杉板類及杉角

右今般能代より多數輸入致候間特別廉價販賣可仕候 多少に不拘御用命の上

明治四十一年五月

(ト) 京城旭町一丁目 小森商店材木部 電話七百四十四番

高等御下宿 諸官衙通勤に最も便利の位置

京城旭町二丁目 三河屋 主 山縣儀作 電話一八番

御贔屓 御願申上ます

町家の御求に可旭町一丁目電話六百五十番に

壽芳瀬代 喜十郎松 吉郎駒榮子

和韓洋 御料理 會席並に仕出し 韓洋亭

大和町軍司令部通 電話六二九番

故陸軍々醫總監從三位勳一等男爵醫學博士 松本順先生親傳秘方

專用 商標

發賣本舖 香川縣高松市 龜井金光堂謹製

▲各科治療 ▲入院隨意

軍人、新聞記者、職工、學生、諸君は藥價半減可仕候 無代施療券配布方區役所へ托し置き候間該券持參の方に限り無代治療に可應候

京城長谷川町二丁目 蘇生病院

入院隨意 京城醫院 京城壽町一丁目 電話七四二番

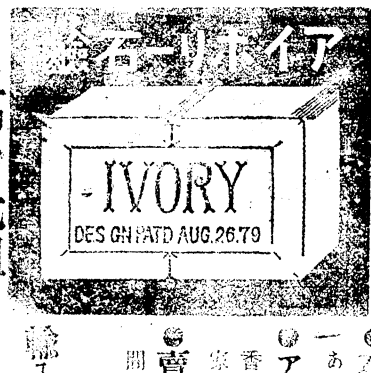
各種血清療法 梅毒 種痘日 日韓病院

●入院隨意● 小川病院 京城本町一丁目 電話六五三

滋養補血 鐵冷鑛泉 内務省 入浴 京城本町 鐵冷温泉

白井石材販賣部 京城永樂町二丁目

美術書畫 表裝壁天井張 城壽町一丁目 桂萬吉



品質純良 石鹸元祖

●石鹸の撰擇は香色にあらずして品質純良なるにあり

●アイボリー石鹸は香料着色を省略せし純良の家庭向實用石鹸なり

●賣捌所は各藥店小間物店にあり

京城永樂町二丁目 輸入元 藤原京城支店 電話九五九番

日本官製 上等煙草 ロングライフ

温飩 素麵 製造所 ▲特別勉強▼ 京城明治町一丁目 橋口商店

▲特別勉強▼

▲梅毒及痳病▲リヨーマチ斯特効藥

定價十日分金五十錢 十四日分九十五錢 廿八日分一圓七十五錢 五十六日分 二週間分五錢

韓國総賣 日滿館 龜井亮之藥局

地方より爲替若くは郵券にて御注文の節は送料不要即時發送▲はがきにて御注文あらば小包引換發送す▲藥種相場表○請有藥價賣歩合表郵券二錢送付あれ御送す

改姓廣告

拙者儀今般矢島と改姓仕候間此段謹告仕候

陣内政治事 矢島政治

日本大學卒業 日本法律學士 岩本英夫法律事務所 京城本町一丁目八十四番 電話六四二番

原金旅館 本店 京城南山町(電話一〇七番) 支店 仁川

東京 生そば 東京庵 京城壽町三丁目坂井病院隣 (電話架設中)

日本料理 庵 味噌醤油製造 乾物荒物罐詰 銘茶食料雜貨

漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店 (電話二五一番)

大阪豆腐 大阪滋養豆ソップ 右は一合三錢にて朝夕配達仕候間御入用の御方ははがきにて御一報被下度候

豆腐木のめでんがく 右は一人前三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目 中瀨商店 木のめ田樂

郵船會社廣告 瀛濟丸 帆廣告 仁川 貨物及帆客取扱店 郡回漕會 電話三九番

仁川 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 東京丸 六月七日 後三時出

●群山木浦釜山門司神戸大阪行 第一オハヨ號 五月 日 後三時出

●大連大沽牛莊行 高砂丸 六月十八日 後一時出

●大連大沽牛莊行 酒田丸 五月 日 後一時出

●鎭南浦行 第一オハヨ號

●釜山出帆元山淸津浦鹽行 弘前丸 六月十日

注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ

釜山北行